

ISO方式ホイール 大型車、車輪脱落事故防止ポイント

下記の様なナットは使わない

<座金が回らない>



<座金が分離>



その他の異常
事例はこちら



使用するナットにオイルを塗布する

①ナットのねじ部に
オイルを塗布



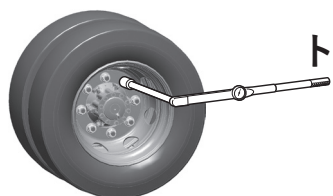
②ナットと座金のすき間
にオイルを塗布



③ナットを回し座金のすき間
全体にオイルをなじませる



トルクレンチを使って、規定トルクで締め付ける



トルクレンチ

規定トルク

・550～600 N・m

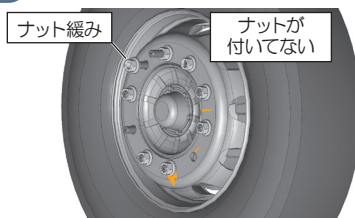
ナットの増し締め

タイヤ取付け後は50 km～100 km走行後を目安に増し締めしてください

日常点検でナットを確認

緩み、脱落を

- ・目で見える
- ・点検ハンマーを使う



インジケータを
使用すると緩みを
検出し易くなります

詳細については、裏面及び取扱説明書をご確認ください。

一般社団法人 日本自動車工業会

いすゞ自動車(株) / 日野自動車(株) / 三菱ふそうトラック・バス(株) / UDトラックス(株)

ISO方式ホイール取付け時のポイント

1 部品の点検と清掃

部品を点検し、以下のものは交換

- ・ナット：座金が固着、分離、ねじ山の損傷
- ・ボルト：折れ※1、伸び、著しい錆、ねじ山の損傷

※1 折損している場合は、その車輪すべてのボルト、ナットを交換

部品取付け面、ネジ部を清掃する

ディスクホイール、ハブ、ボルト、ナットの
錆やゴミ、塗装などを取り除く。



2 ナット、ボルトへのオイル塗布

ナットとボルトにエンジンオイルを塗布

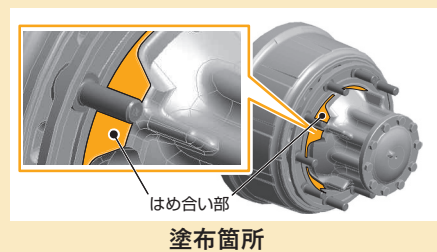
- ・ナット：①ねじ部、②ナットと座金のすき間
- ・ボルト：ねじ部

ナットを数回まわし、ナットと座金のすき間
全体にオイルをなじませる。



3 ホイールの取付け

- ・ハブのはめ合い部にグリースを薄く塗布してください。
- ・ホイール取付けの際はボルトのねじ部を傷つけないよう注意し、ホイールをハブの奥まで押し込んでください。



4 ナットの締付け

- ・ナットを手で回しホイールに着座する事を確認し、かじった場合、ボルトとナットを交換してください。

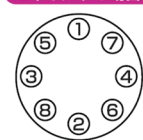
- ・仮締め後トルクレンチを使用して**規定のトルク**で締付けてください。

規定トルク：550～600 N・m

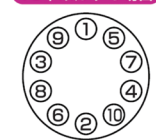
注意

仮締め、本締めともに対角線順に締付けてください。

8本ボルトの場合



10本ボルトの場合



5 ナットの増し締め

- ・タイヤ取付け後50～100km走行後を目安に、再度規定トルクで増し締めしてください。

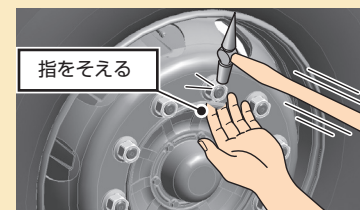
日常点検で確認すること

① 目で見て確認

- ・ナットが浮いてないか？
- ・ナット、ボルトは付いているか？
- ・ホイールに亀裂がないか？

② 点検ハンマーで確認

- ・ナットに指をそえて叩く
⇒ 振動・音が他と違うと
緩みの恐れ



一般社団法人 日本自動車工業会

いすゞ自動車(株) / 日野自動車(株) / 三菱ふそうトラック・バス(株) / UDトラックス(株)